



株式会社 東京自働機械製作所  
Tokyo Automatic Machinery Works, Ltd.

証券コード：6360



東京自働機械

# 第73期報告書 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日

2022 BUSINESS REPORT

# トップメッセージ

Top Message

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より当社に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第73期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況について、ご報告申し上げます。

また、2022年6月29日をもちまして、代表取締役会長に山本 治男、代表取締役社長に佐藤 康公がそれぞれ就任いたしました。これからも株主の皆様のご期待に沿えるよう、社業に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2022年6月

代表取締役社長  
佐藤 康公

代表取締役会長  
山本 治男

## 今期の業績

第73期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響が継続しているものの、政府によるまん延防止等重点措置が解除され、徐々に経済活動の盛り返しが期待されております。一方、新型コロナウイルスの影響から生産や物流が停滞し、加えて急激な円安や、ロシア・ウクライナ問題、原油等資源価格の高騰など、製造コストの上昇圧力が高まっており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済情勢の下、当社は全社を挙げて業績の確保に努めました結果、当事業年度における業績は、売上高88億1千9百万円（前年同期107億8百万円、17.6%減）となりました。利益面では、包装機械事業の利益率が改善されたものの生産機械事業の売上が減少したこと等から、営業利益3億8千6百万円（前年同期6億2千万円、37.8%減）、経常利益5億2千6百万円（前年同期7億7千8百万円、32.3%減）、当期純利益3億7千3百万円（前年同期5億4千5百万円、31.5%減）となりました。

売上高

**8,819**百万円

営業利益

**386**百万円

経常利益

**526**百万円

当期純利益

**373**百万円

## 包装機械、生産機械の概況

各セグメント別の業績は次のとおりであります。

包装機械部門におきましては、受注は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルスの影響が継続しており、新規設備投資に慎重な姿勢がみられました。また、一部部品の調達に困難な状況が継続するなど、納期確保に厳しい対応を余儀なくされました。このような状況下、当部門の売上高は45億4千4百万円（前年同期50億1百万円、9.1%減）となりました。

セグメント利益は、営業活動の回復に伴い販売費・一般管理費が増加しましたが原価低減効果から、2千万円の利益（前年同期1千5百万円の損失）となりました。

生産機械部門におきましては、大型プロジェクトを中心に当初想定を上回る受注を確保することが出来ましたが、来期以降の納入分が多く、今期は売上高42億7千4百万円（前年同期57億6百万円、25.1%減）となりました。

セグメント利益は、原価低減効果から原価率が改善しましたが、売上高減少の影響が大きく、9億1千7百万円（前年同期12億3百万円、23.8%減）となりました。

また、共通費は5億5千1百万円（前年同期5億6千6百万円、2.8%減）となりました。

セグメント別売上高構成比



## 今後の取り組み

包装機械事業におきましては、人手不足を背景とした自動化設備投資需要により順調に推移しておりましたが、新型コロナウイルスやロシア・ウクライナ問題が景気に及ぼす影響が強く懸念され、加えて部品調達遅延問題を含め、より一層先行きが見えにくい状況になっております。一方で人手不足や合理化によるコスト削減は今後も継続するものと見られ、加えて時流である「環境」「自動化」「IoT」「紙包装」等のキーワードに沿った設備投資も顕在化していくと思われまます。

また、生産機械事業におきましては、海外特定顧客の設備投資動向が引き続き堅調ではあるものの、包装機械事業と同様、世界経済の予断を許さない景気動向からその設備計画の変更も予測されますので、最新状況の把握を含め、顧客との信頼/協業関係を更に深める必要があります。

このような状況下、当社といたしましては、まずは新型コロナウイルス対策を万全なものとしながらも、受注確保に努め、時流に合った商品開発や顧客提案を実施していくことでこの先に繋げることが喫緊の課題と認識しております。

当社は2021年度をスタートとする第6次中期経営計画を策定しており、コミュニケーションの更なる深化をもとに生み出す新たな発想を具現化し、社会に新たな価値を提供し続ける「価値創造企業」となることを目指し、本中期経営計画においては以下の基本方針を掲げております。

- ① 技術開発力と顧客要求完遂力を基盤に他社と差別化
- ② 包装機械/生産機械の両事業により売上/利益を確保
- ③ 経営基盤強化を図り事業の継続性/成長力を確保
- ④ 必要人材の確保/育成/登用と円滑な世代交代の実現
- ⑤ 持続可能な社会の実現に貢献できる事業の推進

新型コロナウイルスの状況や景気動向を注視しながらも、これらの課題に対処し、継続的な成長を目指す所存です。

# 製品のご紹介

Product Information

当社の主な製品についてご紹介します。

## 紙包装機

### (銘産品／贈答品用包装機)

納入実績日本一を誇る銘産品／贈答品用の上包機です。丁寧に綺麗な包装仕上がりを評価頂き、全国各地のお客様にお使いいただいています。



## 製袋充填機

### (縦型ピロー包装機)

各種商品を袋詰する包装機です。お菓子等のばら物からコーヒー、小麦粉等の粉もの、冷凍食品等あらゆる商品の袋詰機械として活躍しています。



## フィルム包装機

### (集積上包機)

様々な箱ものを集積包装する機械です。前・後工程とのライン化にも柔軟に対応し、包装工程の高速、効率化に貢献しています。



## 箱詰機

### (段ボールケーサー)

医薬品、食品、レトルトパウチなどの袋物を、自動で段ボールへ箱詰します。

商品に優しく、箱詰作業を自動化することが可能です。



## リサイクル機械

### (自動結束ベラー)

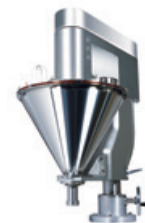
回収されたペットボトル、布、古紙等を圧縮梱包する機械です。高密度の圧縮梱包により、輸送コストの削減に貢献しています。



## 粉体充填機

### (オーガー充填機)

品種替えや清掃等にかかる作業時間を大幅に削減した粉体充填機です。当社の製袋充填機と一体型の粉体充填システムも豊富な納入実績を誇ります。



## たばこ生産機械

### (フィルタプラグ関連機械)

40年以上の経験と実績から生まれた、コストパフォーマンスの高い、たばこのフィルタプラグ関連機械です。中国、韓国、台湾への納入実績もあります。



## 各種生産機械（大型プロジェクト等）

お客様のニーズに合わせて当社の製品開発技術力により開発した各種の産業用機械・設備・装置を提供しています。海外へも販売しています。

## ラインシステム



商品の特性や設置スペース等に合わせ最適な包装ラインを提案し、お客様の課題解決に取り組んでいます。様々な機械を組み合わせ、生産ラインの自動化や省人化に貢献しております。

写真のラインシステムではスナック等を製袋充填機で袋詰めし、自動で段ボール詰めまで行います。

## 環境リサイクル部の新設



当社はこの度、環境分野における事業を拡大するため、新たに「環境リサイクル部」を新設いたしました。当社は48年間にわたり、ベラー事業を通して日本のリサイクルシステムの一翼を担ってまいりました。

ベラーとは、リサイクル資源をリサイクル工場まで効率良く運搬出来るように圧縮梱包する機械です。ベラーの最大市場は古紙（段ボール、新聞、雑誌）ですが、近年当社は産業廃棄物市場の開拓、とりわけPETボトルの市場に力を入れて営業活動を展開し、着実に納入実績を増やしています。

今後は「環境」「リサイクル」をキーワードにした、新しいビジネスへのチャレンジも視野に入れて事業活動を展開することで、環境リサイクル事業をより太い柱にしていまいります。

# 財務諸表

Financial Statement

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2022年3月31日 現在	前事業年度 2021年3月31日 現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	9,176	6,096
固定資産	4,796	5,037
有形固定資産	2,103	2,180
無形固定資産	40	40
投資その他の資産	2,652	2,816
資産合計	13,973	11,134
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	6,179	3,556
固定負債	2,074	2,058
負債合計	8,254	5,615
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	5,005	4,690
評価・換算差額等	713	828
純資産合計	5,718	5,519
負債純資産合計	13,973	11,134

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前事業年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,031	1,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125	△327
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	2,932	657
現金及び現金同等物の期首残高	1,743	1,085
現金及び現金同等物の期末残高	4,676	1,743

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前事業年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	8,819	10,708
売上原価	6,776	8,459
売上総利益	2,043	2,248
販売費及び一般管理費	1,657	1,627
営業利益	386	620
営業外収益	251	243
営業外費用	110	86
経常利益	526	778
特別利益	19	2
税引前当期純利益	546	781
法人税、住民税及び事業税	156	141
法人税等調整額	16	94
当期純利益	373	545

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 財産および損益の状況の推移

区分	当事業年度 第73期	前事業年度 第72期
売上高 (百万円)	8,819	10,708
経常利益 (百万円)	526	778
当期純利益 (百万円)	373	545
1株当たり純資産額	4,085円29銭	3,942円41銭
1株当たり当期純利益	266円79銭	389円35銭
総資産 (百万円)	13,973	11,134
純資産 (百万円)	5,718	5,519

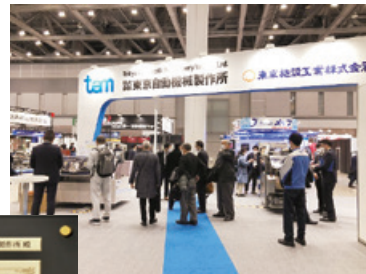


## 展示会

第73期は2021年5月に「第31回西日本食品産業創造展'21」、2021年6月に「FOOMA JAPAN 2021 国際食品工業展」、「2021札幌パック」、2022年2月に「JAPAN PACK 2022 日本包装産業展」に出展し、多くの包装機を実演・展示しました。

「JAPAN PACK 2022 日本包装産業展」では、縦型ピロー包装機 TWFX 3 CR型が「JAPAN PACK AWARDS 2022 優秀賞」を受賞しました。従来機より高速化したこと、包装フィルムの自動接続機能が評価されました。

今後も魅力ある商品づくりに努めるとともに継続して各展示会に参加し、新機種をはじめとした当社製品の販売拡大に取り組んでまいります。



## 環境に配慮した紙パッケージ

当社の縦型ピロー包装機をお使いいただき、味の素株式会社様の「味の素®」、「うま味だし・ハイミー®」の包装が、プラスチックから紙のパッケージに変更されました。

この包材変更により、プラスチック廃棄量が年間約12t（2020年度比）削減されます。

プラスチックの海洋への流出が問題視される中、包装機械のご提案を通して環境に優しい社会に貢献できるよう、引き続き技術力を高めてまいります。



## 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社 東京自働機械製作所
設立	1944年6月
資本金	9億5,400万円
従業員数	256名
事業内容	一般各種自動包装機械、たばこ製造・包装機械、圧縮梱包機、組立機などの開発・設計、製造、販売

## 役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役会長	山本治男
代表取締役社長	佐藤康公
取締役	太田直人
取締役	渡邊義達
取締役	吉邊英司
取締役	長友康夫
取締役	中村洋一
常勤監査役	小嶋甲子雄
監査役	山口秀夫
監査役	前田剛介

## 株主メモ (2022年4月4日現在)

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式の総数	1,452,000株
株主数	1,118名

## 事業所一覧 (2022年3月31日現在)

- 本社 東京都千代田区岩本町3-10-7 (東自機ビル)  
TEL : 03-3866-7171 (代表)
- 大阪営業所 大阪市西区阿波座1-15-15 (第一協業ビル6階)
- 名古屋営業所 名古屋市中区村区大日町4-2 (パールハイツ1階)
- 福岡営業所 福岡市博多区博多駅東2-5-19  
(サンライフ第三ビル8階)
- 札幌営業所 札幌市西区琴似3条1-1-20  
(コトニ3・1ビル5階)
- 設計開発部 千葉県流山市駒木台149
- 柏工場 千葉県柏市西原7-3-1

## 公告掲載方法 (公告掲載URL)

[https://www.tam-tokyo.co.jp/ir/ir\\_densikoukoku.html](https://www.tam-tokyo.co.jp/ir/ir_densikoukoku.html)  
当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する。

証券コード 6360

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード



株式会社 東京自働機械製作所

